

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【公表番号】特表 2007-500205 (P2007-500205A)

【公表日】平成 19 年 1 月 11 日 (2007.1.11)

【年通号数】公開・登録公報 2007-001

【出願番号】特願 2006-531007 (P2006-531007)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/24 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/16

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/24

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 25 日 (2007.5.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

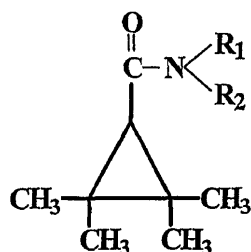
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

精神障害を治療する薬剤を調製するための、式 I の化合物の使用。

【化 1】



[I]

(式中、 R_1 および R_2 は、同一であるか異なっており、水素および $C_1 \sim C_6$ アルキル基から独立に選択される)

【請求項 2】

R_1 または R_2 の一方が $C_1 \sim C_6$ アルキル基であり、他方が水素である、請求項 1 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 3】

前記 $C_1 \sim C_6$ アルキル基が直鎖または分枝鎖アルキル基である、請求項 1 または 2 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 4】

前記 $C_1 \sim C_6$ アルキル基がメチル基である、請求項 1 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 5】

前記 $C_1 \sim C_6$ アルキル基がメチル基である、請求項 2 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 6】

前記精神障害が双極性障害である、請求項 1 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 7】

前記化合物が、式 I の化合物と薬剤として許容される担体を含む薬剤組成物として投与される、請求項 1 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 8】

前記化合物の投与経路が、経口、非経口、局所、経皮、直腸、および口腔投与からなる群から選択される、請求項 1 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 9】

前記化合物の投与経路が、経口および非経口投与からなる群から選択される、請求項 1 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 10】

前記非経口投与経路が、静脈内、筋肉内、腹腔内、および皮下投与からなる群から選択される、請求項 8 または 9 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 11】

前記化合物が、1 日当たり約 1 mg から約 1000 mg の範囲で投与される、請求項 1 に記載の式 I の化合物の使用。

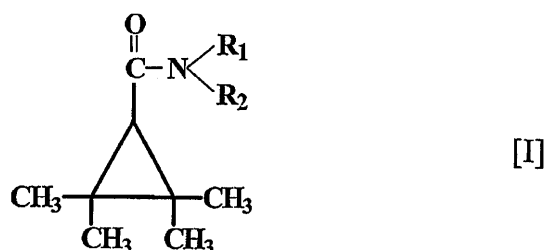
【請求項 12】

前記化合物が、1 日当たり約 20 mg から約 500 mg の範囲で投与される、請求項 1 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 13】

薬剤として許容される担体、および有効成分として治療上有効量の式 I の化合物を含む、精神障害を治療するための薬剤組成物。

【化 2】

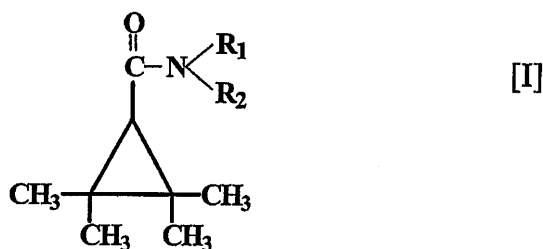


(式中、 R_1 および R_2 は、同一であるか異なっており、水素および $C_1 \sim C_6$ アルキル基から独立に選択される)

【請求項 14】

MIP シンターゼの阻害剤を調製するための、式 I の化合物の使用。

【化 3】



(式中、 R_1 および R_2 は、同一であるか異なっており、水素および $C_1 \sim C_6$ アルキル基から独立に選択される)

【請求項 15】

R_1 または R_2 の一方が $C_1 \sim C_6$ アルキル基であり、他方が水素である、請求項 14 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 16】

前記 $C_1 \sim C_6$ アルキル基が直鎖または分枝鎖アルキル基である、請求項 14 または 15 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 17】

前記 $C_1 \sim C_6$ アルキル基がメチル基である、請求項 14 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 18】

前記 $C_1 \sim C_6$ アルキル基がメチル基である、請求項 15 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 19】

前記 MIP シンターゼが哺乳動物 MIP シンターゼである、請求項 14 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 20】

前記 MIP シンターゼが哺乳動物脳 MIP シンターゼである、請求項 14 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 21】

前記哺乳動物 MIP シンターゼがヒト MIP シンターゼである、請求項 19 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 22】

前記哺乳動物脳 MIP シンターゼがヒト脳 MIP シンターゼである、請求項 20 に記載の式 I の化合物の使用。